

カワラナデシコ

秋の七草の一つで、ピンクの細く切れ込んだ花弁を持つきれいな花が咲きます。古くから栽培され、花弁が深く切れ込んだ垂れ下がる伊勢撫子（いせなでしこ）などの品種が生まれました。

名前のように富士川の河原などに生えていますが、海岸の安定した砂地にも生育していました。しかし、今では砂地が少なくなり、わずかに見つかるだけです。

